



2024年度 活動レポート

2024年4月1日~2025年3月31日



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟



当協会連盟の
公式サイトはこちら

日頃より日本ユネスコ協会連盟の活動に温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
ご報告させていただきます。

令和6年能登半島地震は多くの人びとに被害をもたらし、能登地域の子どものための教育環境も脅かしました。当連盟は災害子ども教育支援に寄せられた温かいご寄付をもとに、被災した子どもたちが進学をあきらめることがないよう奨学金などの支援を届けました。

また、さまざまな困難をかかえる日本の子どもたちを支援するU-Smileプログラムでは、各地のユネスコ協会・クラブが続々と参画し、自治体、企業、NPO、ボランティアの方々との連携のもと学習支援や居場所支援、各種体験プログラムを子どもたちに提供しました。

さらに、世界寺子屋運動では、カンボジア、ネパール、アフガニスタン、ミャンマーにおいて、格差や政情不安などの影響により教育機会から疎外された人びとへの支援に引き続き取り組みました。

依然として続くウクライナ戦争や中東の戦火の拡大をはじめ、対立や分断が顕著になる国際情勢の中、私たちは改めてUNESCOの普遍的な使命を再確認し、教育や文化の普及・推進を通じた平和構築活動を一層拡大してまいります。

皆さまの継続的なご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後ともご支援とご理解を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

2025年7月
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

会長 佐藤 美樹



目次

■ 日本ユネスコ協会連盟の活動	2	■ 国内＞地域遺産の保護保全・啓発	
■ 国内＞子ども教育支援		未来遺産運動	17
災害子ども教育支援	3	■ 海外＞世界遺産の保護・保全支援	
東日本大震災子ども支援 ユネスコ協会就学支援奨学金	7	世界遺産活動	19
東日本大震災子ども支援 MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金	8	■ 多文化共生促進＞国際理解・交流プログラム	
アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム	9	三菱アジア子ども絵日記フェスタ／高校生カンボジアスタディツアー	20
ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト	10	寺子屋リーフレット制作プロジェクト	20
U-Smile ～みんなでつなぐ子ども応援プログラム	11	■ 団体概要	21
■ 海外＞途上国における教育支援		■ 全国ユネスコ協会・クラブ	22
世界寺子屋運動		■ 維持会員／賛助団体会員／サポーター	23
カンボジア	13	■ 企業・団体との連携	24
ネパール／ミャンマー／バングラデシュ	14	■ 寄付方法のご案内	25
アフガニスタン／書きそんじハガキ・キャンペーン2024	15	■ 会計報告	26
■ 海外＞途上国への医療・食糧支援			
一杯のスプーン			
ネパール／アフガニスタン／ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金			
パレスチナ・ガザ地区への支援予定について	16		

日本ユネスコ協会連盟の活動

日本ユネスコ協会連盟は、民間のユネスコ団体（NGO）として、1948年に創設されました。UNESCO憲章の理念に基づき、教育や文化の普及・振興を通じたさまざまな活動を国内外で実施しています。連盟を構成する各地ユネスコ協会・クラブや、企業、団体、個人の皆さまとともに、平和で持続可能な社会づくりを目指して70年以上にわたり活動を続けています。

日本ユネスコ協会連盟が目指すこと

ビジョン
指針と展望

Peace for Tomorrow
広げよう平和の心

ミッション
使命と責務

Mission 1 平和な世界の構築

Mission 2 持続可能な社会の推進

■ SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み



ゴール4「質の高い教育をみんなに」を重点に活動しています。

貧困や飢餓、教育、ジェンダー、保健、環境、気候変動などの世界的な課題に対し、2030年までに達成すべき17の目標がSDGsです。私たちは、ゴール4「質の高い教育をみんなに」が17すべてのゴール達成の根幹を成すとの考えのもと、SDGsの達成に貢献します。

子ども教育支援

災害子ども教育支援

被災地の教育現場の復旧・復興や、子どもたちの就学・学習環境の整備・復興を支援する。



U-Smileプログラム

地域協働型の包括的な教育支援を通して、相対的貧困やさまざまな理由で困難な状況に置かれた子どもたちを支援する。



途上国における教育支援

世界寺子屋運動

教育を必要とする人びとに学びの機会を提供し、貧困のサイクルを断ち切る。



地域遺産の保護保全・啓発

未来遺産運動

地域の有形・無形の文化や自然を100年後の子どもたちにつなぎ、伝える。



世界遺産の保護・保全支援

世界遺産活動

人材育成や修復、世界遺産教育を通じて、途上国の世界遺産の保護・保全を行う。



多文化共生促進

国際理解・交流プログラム

国籍や民族などの異なる文化を認め合い、学び合い、共生に向けた相互理解を促進する。



災害子ども教育支援

事業目的 被災地の教育現場の復旧・復興や、子どもたちの就学・学習環境の整備・復興を支援する。

いつか起こる災害から、子どもたちの未来を守るために

2024年度は「令和6年能登半島地震」で被害を受けた学校と保育所、被災して保護者を亡くした、または家庭の経済状況が悪化し、就学のための支援が必要となった子どもたちを支援しました。全国から寄せられた募金が、奥能登地域の子どものための教育環境を支える一助となっています。あわせて被災地の復興に取り組むユースによる活動も支援しました。

事業概要

「東日本大震災子ども支援」の後継事業として始まった本事業は、災害の規模や被害レベルに応じ、以下3つの支援を行います。

奨学金支援

■ 対象

- ① 災害で就学のための経済的な支援が必要になった子ども
- ② 災害で親を亡くした子ども

■ 内容

高校進学を支えるための奨学金支援
月額2万円を3年間（給付型）

■ 対象災害

激甚災害に指定され、かつ子どもたちへの就学支援が必要とされる大規模な災害

学校支援

■ 対象

学校等（幼稚園、小学校、中学校、高等学校ほか、教育や子どもに関連する機関・施設）

■ 内容

学校等の復旧・復興に必要な物資などを調達するための支援

■ 対象災害

激甚災害に指定された災害

ユース・ボランティア支援

■ 対象

被災地の復旧・復興のためのボランティア活動に取り組むユース・グループ

■ 内容

ボランティア活動費の補助

■ 対象災害

災害ボランティアセンターなどからボランティア派遣要請が出された災害

2024年度事業成果

対象災害名	支援地域
令和6年 能登半島地震	石川県珠洲市、 能登町、輪島市、 穴水町、志賀町、 内灘町
学校支援	奨学金支援
34校・1保育所	56人 ※能登半島地震では、 中学1～3年生を支援。
ユース・ ボランティア支援	
2件	

震災から1年以上が経過した被災地の状況

2024年元日の地震から1年も経たない同年9月には豪雨災害が発生し、壊滅的な被害を受けた奥能登地域。震災から1年以上が経過しましたが、いまなお復興が進まない地域もあり、厳しい状況に置かれています。

能登半島地震と奥能登豪雨の両方で甚大な被害を受けた珠洲市大谷町。すぐ近くに大谷保育所や避難所となっていた大谷小中学校もある（2025年3月21日撮影）

累計成果

2021～2024年度

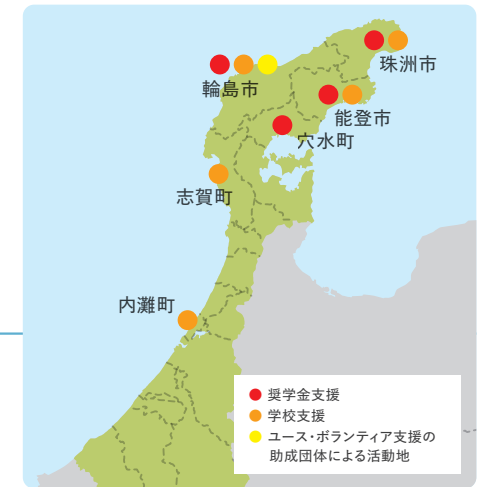
対象災害	学校支援
4件	40校・3保育所
奨学金支援	ユース・ ボランティア支援
56人	2件



3つの支援の現場から

～奨学金支援、学校支援、ユース・ボランティア支援～

■ 支援マップ



奨学金支援

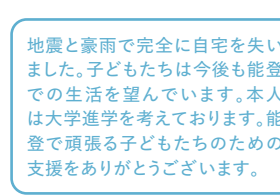
被災家庭の状況 ～奨学金の必要性～
奥能登2市2町の子どもたち56人に奨学金を給付しました。2024年度から3年間にわたり、月額2万円の返済不要の奨学金を支援します。



家屋倒壊により夫を亡くしました。私のパート収入だけでは娘と息子の学費面に不安があります。



家が被災して立入禁止となり、転居します。奨学金は参考書代や検定代、受験費用、高校進学後は教科書代や模試代などに役立てたいです。

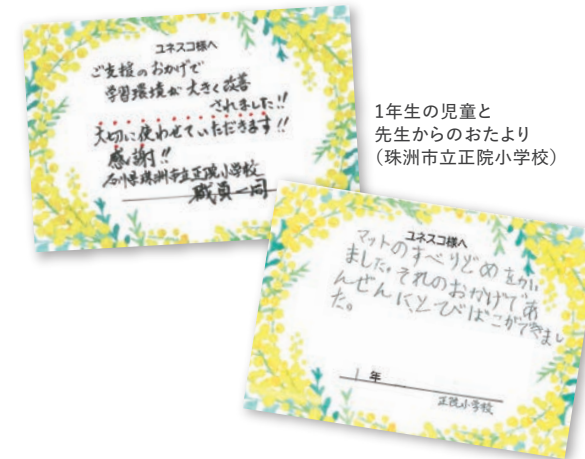


地震と豪雨で完全に自宅を失いました。子どもたちは今後も能登での生活を望んでいます。本人は大学進学を考えております。能登で頑張る子どもたちのための支援をありがとうございます。



自宅再建には多額の修繕費が必要で、家計を圧迫しています。本奨学金は高校進学および学校生活に必要な資金に充てたいです。

学校支援



1年生の児童と先生からのおたより（珠洲市立正院小学校）

被災した学校に教育物資などを調達するための支援

被災した石川県内の計35の学校・保育所に対して支援を行いました。支援で購入した学校備品などは子どもたちのために活用されています。



修学旅行の費用を支援した（珠洲市立直小学校）



震災で破損したデジタルタイマーを購入し、部活動で活用している（輪島市立輪島中学校）

ユース・ボランティア支援



輪島市で活動を行った学校法人聖ヨゼフ学園日星高等学校（京都府舞鶴市）



被災した神社で瓦礫の仕分けを行うグローバルユース防災サミット実行委員会（大阪府大阪市）

がれき撤去や家財撤出などユースによるボランティア活動への助成

災害ボランティアの活動を行った2団体への助成を実施しました。両団体は輪島市で家財道具の撤去、がれきの撤去、避難所から仮設住宅への引越し支援などの活動を行いました。助成金は交通費や活動で必要となった備品代に活用されました。

奨学生インタビュー

令和6年能登半島地震で被災した奨学生のご家庭にお話を伺いました。

皆に支えられ野球を頑張っています

坂口大起さん 中学1年生（2025年3月取材時） 輪島市



野球部の練習後、校門前で。中学校のプレートは地震で壊れたままになっている

令和6年能登半島地震で最大震度7を記録した輪島市は、住家の約6割が全半壊という甚大な被害を受けました。地震が発生したとき坂口さん一家は自宅にいて、両親と姉は2階、大起さんだけ1階にいました。お母さまは発災時をこう振り返ります。「激しい揺れの中、私は近くにいた長女を必死に抱えて覆い被さりました。古い木造の家だったので、あちこちでバキバキ壊れる音が聞こえてきて、『大起にはもう二度と会えないかもしれない』、そのとき本気でそう思いました」。幸運にも、倒壊した1階から大起さんは無傷で救い出されます。ただ、たった一人で揺れの恐怖の中にいた記憶は心の奥にしまい込んだままでした。間もなく、避難所となった体育館での生活が始まります。狭い空間で、声をひそめての暮らしは、子どもにはなおさら窮屈でした。かといって、空き家狙いの窃盗団が横行しているという話もあり、気軽に外を出歩ける状況ではなかったといえます。そんなとき、沖縄県が被災者を受け入れ、大起さんと両親は約1カ月、沖縄で避難生活をおくれることに。

野球の試合を観て心を開いた瞬間

沖縄ではちょうどヤクルトスワローズがキャンプ中でした。たまたまその試合を観に行った帰りのことです。震災以来ふさぎ込んでいた大起さんが、バスの中でぼつりぼつりと話し始めました。「地震のときはもうダメだと思った。どうしたら生き残れるか考えてた。なんで俺はたった一人でこんな目に遭ってるんや。最悪やと思った…」初めて地震のことを話してくれた大起さんに、お母さまは「野球を観にきてよかったなあ」と心が温くなったそうです。そして、沖縄滞在中に、3人はもう一度スワローズの試合へ。白熱した試合にわくわくした帰り道、大起さんは、公園で子どもたちがたくさんいる中へ自分から走っていったのです。

お母さま曰く「地震以来、同年代の子を避けるようになっていて…。だから、ほかの子たちと滑り台で遊ぶ姿を見て、胸にぐっときました。大起が心を開いた瞬間だったと思います」。それから一家は6月まで避難所で過ごし、仮設住宅へ。その間に大起さんは中学生になりました。家が全壊し何もかも失っていたため、制服やカバンは先生が寄付を募って用意してくれました。そうやって始まった中学生活について、大起さんは「クラスは明るくて、先生は難しいところもわかりやすく教えてくれるから、学校は楽しいです」。入部した野球部でも、先輩のユニフォームやジャンパーを譲ってもらうなど、周りの人たちに支えられました。「友だちと公園でよくキャッチボールをしていて楽しかったので、野球部に入りました。いまは難しいバウンドを処理できたり、しっかりスイングできたりすると嬉しい。授業でも体育がいちばん好きです」。最初のグローブは先輩のお古でしたが、今年の1月に新しいグローブを買ってもらい、ますます練習に熱が入るようになりました。

恐竜が好きだから、生物学者に

奨学金は、部活動の備品や遠征費に活用するほか、瓦礫の下から掘り出して何とか使っていた大起さんの自転車を買い替えたいとのこと。「自分たちにできないことを奨学金が叶えてくれました。支援者の皆さんのおかげです」とお母さま。「あの地震でも無傷でいてくれた。だから大起には、これからも怪我をせず元気でいてほしい。そして、悔いのないよう自分の行きたい道に進んでほしい。願うのはただそれだけです」。大起さんに将来の夢を尋ねると、「小さいころから恐竜が好きだったから、生物学者になりたい」とのこと。福井県立大学にこの春、国内初の恐竜学部が開設されたと知り、夢は現実味を帯びてきました。



この春、中学2年生になった大起さん。「これからもうまくなれるように練習を頑張ります。ヒットも打ちました。」

友だちのいる地元の中学校に行きたい

小林夕真さん 中学1年生（2025年3月取材時） 穴水町

能登半島の中央部に位置する穴水町は、被害の大きかった奥能登4市町のひとつ。小林夕真さんは被災当時、小学6年生でした。地震が起きたとき、一家4人は自宅にいて、すぐにテーブルの下に潜って身を守ったそうです。余震が続く中、数日間は車中泊で過ごし、その後は比較的被害の少なかったお母さまの実家へ。支給された2つのカップ麺を4人で分け合うなど苦勞の多い中、いちばん困ったのは水が出なくなったことでした。「とくにトイレが大変で、仮設トイレがたくさんできた公民館まで行っていました。飲食用は自衛隊の給水車で汲み、重い水を背負って戻るとい生活が2カ月くらい続きました」とお母さまは当時を振り返ります。それから一家は、親戚が住む金沢市へ。ちょうど夕真さんが中学校に進学するタイミングで、ご両親は金沢への転居も検討したといえます。けれども、夕真さんの気持ちは「友だちのいる地元の中学校に通いたい」というものでした。

自然が豊かで人が優しい穴水町が好き

穴水町に戻った一家は現在、町内の仮設住宅で暮らし、夕真さんは地元の中学校に通っています。好きな学科は数学と英語と技術。「小さいときから数字が好きで、計算を解くのも好きでした。英語は小学生のとき通っていた塾の先生がおもしろくて、中学でも楽しく勉強できています。技術は、ものをつくるのがすごく好き。中学では収納用の木製の椅子をつくりました」。一方、部活は吹奏楽部でチューバを吹いています。「チューバは目立たないんですけど、メロディーを下で支えている感じが気に入っています」。いまは

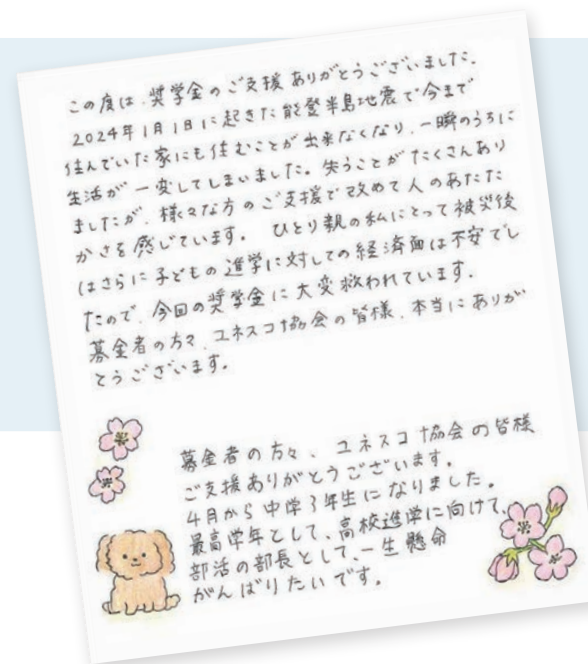
奥能登地域の学校と一般の人びととの合同演奏会に向けて、練習に励む日々です。奨学金は、成長期にある夕真さんの制服や靴のほか、学用品や英語の資格試験の費用などに活用されています。「本当にありがたいです。何より子どものために使えるので、感謝の一言では足りません」とお母さま。穴水町については「震災で町から離れてしまった人たちが戻ってきて、ここで成長して、家族を持ちたいと思えるような町になってほしい」といいます。夕真さんも、「地域の人たちが明るく元気で優しいところが僕は好き。ここは自然も豊かで、山に行けばいろいろな生きものの声がします。小さいころから動物が好きだったので、将来は動物園の飼育員になりたいです」。そして、いつか地元の復興のお手伝いがしたい、お世話になった人たちに恩返しできるような大人になりたい、と話してくれました。



「中学になってから、部活などでも責任をもって行動できるようになりました」

奨学生や保護者からおたよりが届きました。

輪島市・中学2年生から



通っていた学校は地震のあと避難所になり、家の前の公園には仮設住宅が建ち、学校に行くことも遊ぶこともほとんどできませんでした。あれから約1年半が経ち、いまでは学校に行けて、部活もできてすごく嬉しいです。町も少しずつ復興しています。

災害子ども教育支援の取り組みはこちら



輪島市・中学校3年生と保護者から

東日本大震災子ども支援 ユネスコ協会就学支援奨学金

事業目的 給付型奨学金で高校進学に伴う家計負担への不安を軽減し、子どもたちの希望を支える。

高校進学支援で安心して学べる環境を

2024年度は409人の子どもたちに奨学金を届けました。各家庭で通学代、学用品、部活の活動費などに役立てられています。震災の年に始まった本奨学金は、これまで14年にわたり被災地の学習環境を支えてきました。

事業概要

■ 対象

東日本大震災における地震・津波による住居の流失や損壊、あるいは原発事故による避難などで経済状況が悪化した家庭の、高校進学を希望する子どもたち

■ 内容

中学3年～高校2年修了までの3年間にわたり、月額2万円の返済不要の奨学金を支援。

2024年度事業成果

奨学生人数

409人

支援地域

岩手県・宮城県・
福島県の中で被害の
大きかった市町村

奨学金給付額

9816万円

累計成果

2011～2024年度

奨学生人数

3977人

支援地域

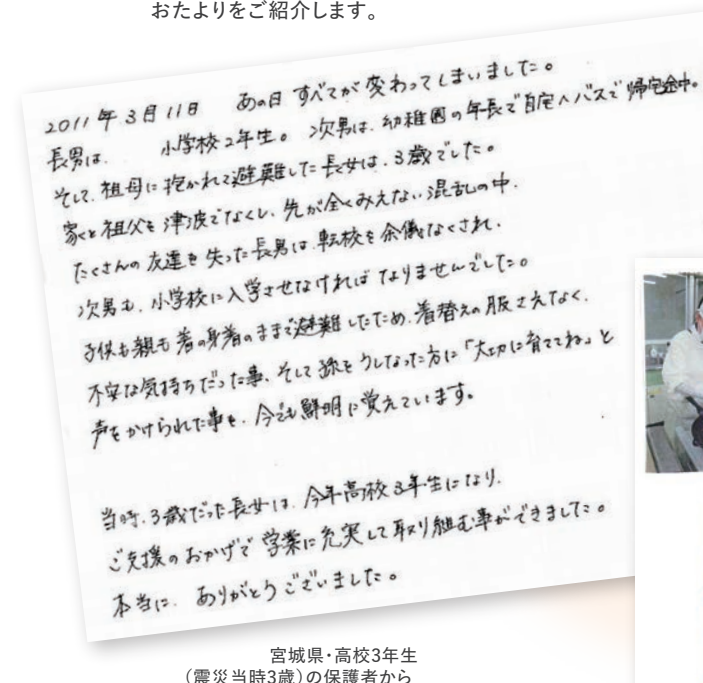
岩手県・宮城県・
福島県の中で被害の
大きかった市町村

奨学金給付額

27億7684万円

東北3県、4000名近くの子どもたちの 学習環境を支えてきました

2024年度に支援した子どもたちや保護者から寄せられたおたよりをご紹介します。



宮城県・高校3年生
(震災当時3歳)の保護者から



「大好きな調理実習の一コマです」
宮城県・特別支援学校3年生から
(震災当時3歳)

福島県・高校2年生から
(震災当時2歳)

東日本大震災子ども支援 MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金

事業目的 震災で親を亡くした子どもたちの長期的な生活と学びを支援する。

被災地の教育復興と子どもたちの教育機会を守る

2024年度は81人の子どもたちに奨学金を届け、そのうち40人が高校を卒業、進学や就職など、それぞれの道に向かって歩み始めました。

2025年度は本事業最後となる奨学生の教育環境を支えていきます。

事業概要

■ 対象

東日本大震災で親を亡くした小学生・
中学生・高校生
(2014年小学校入学児童まで)

■ 内容

小学校から高校卒業までの在学期間中、月額2万円の返済不要の奨学金を支援。このほか、本基金によりこれまでに国際交流プログラムや学校の花壇の再生プログラムなどを実施。
協力:三菱UFJフィナンシャル・グループ

2024年度事業成果

奨学生人数

81人

支援地域

岩手県・宮城県
福島県・茨城県

奨学金給付額

1944万円

累計成果

2011～2024年度

奨学生人数

1486人

支援地域

岩手県・宮城県・福島県
秋田県・茨城県・東京都
神奈川県・島根県

奨学金給付額

23億2846万円

40人の奨学生が高校を卒業しました

2024年度に支援した子どもたちや保護者から寄せられたおたよりをご紹介します。

宮城県・高等専門学校
5年生から

私は、東日本大震災のとき避難所で生活経験したことから、電力会社に就職したいと考えています。理由は、避難所で停電をあげて喜ぶ姿が印象的で、電気の力を感じたからです。さらに震災で父が亡くなり、成長するにつれて「人びとの生活を守りたい」と考えたからです。

宮城県・高校3年生から

僕は今年で高校3年生になりました。アーチエリー部の部長として新1年生を勧誘し、県総体に向けて練習しています。インターハイで入賞できるように、これからたくさん練習します。



東日本大震災から14年、日々息子の成長に思ひがたがある。あつという間に経過した事と今は強く実感しております。震災当時 息子は保育園の年中さんでした。この震災により母親と兄を失い、息子自身も身体的に我慢していた事や、刀を握る事や、お風呂を指させられ、全て黒色で描く時期が続き、私的には心の痛みが一番の心配事でした。しかし周りの親族や友人、色々な方から支えられ、心から立ち上がり、生きていく事が出来ました。又、資金的な面に関しても、東日本大震災復興育英基金の支援により、色々な体験させてあげる事が出来ました。誠にありがとうございました。

宮城県・卒業生の保護者から

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

事業目的 学校の減災教育の推進・改善を支援し、
地域の中心となる子どもたちを育てる。

災害時に命と地域を守れる子どもを育てる

2024年度は23都道府県・30校に助成金(10万円)を支給しました。協働枠としてユネスコ協会4団体も参加しました。教員研修会(9月)では、宮城県気仙沼市の学校や震災遺構を訪問しました。助成校が実践成果を共有する活動報告会(1月)と防災・減災の知見を深める公開フォーラム(2月／オンライン配信を含む)も実施しました。

事業概要

- 対象
全国の小学校、中学校、高校
(義務教育学校、特別支援学校等含む)
- 内容
①活動費の助成(10万円/校) ②教員研修会(東日本大震災の被災地訪問)
③活動報告会および減災教育フォーラム(東京都・オンライン)
※減災教育フォーラムは一般公開

協力:アクサ生命保険株式会社、奈良教育大学ESD・SDGsセンター／後援:文部科学省、日本ユネスコ国内委員会／プログラムコーディネーター・講師:及川幸彦氏(奈良教育大学)／ファシリテーター・講師:上田和孝氏(新潟大学)／研修共催:気仙沼市教育委員会／研修協力:気仙沼市立階上小学校、気仙沼市立階上中学校、宮城県多賀城高等学校

2024年度事業成果



児童が地域や観光客へ噴火災害を発信 豊浦町立豊浦小学校(北海道)

近隣の有珠山噴火を想定し、町教育委員会や役場、中学校、専門家と連携し、講義、校外学習や避難所設営体験などを行いました。児童は噴火の知識や過去の被災について発表会で地域に発信するだけでなく、訪れた観光客にも伝えました。活動により児童の地域への愛着、社会参画意識や、地域全体の減災意識が高まりました。



専門家が案内して有珠山で校外学習。
現場を体感し災害への学びを深めた

学校と地域が課題共有で「Win-Win」に 京都府立南山城支援学校(京都府)

学校と地域が災害時の課題を共有し、防災力の向上を目指しました。防災士による講義、非常食の調理活動や避難所体験を通し、児童・生徒は、自ら安全を確保できる力や適切に助けを求める力など、発達段階に応じた知識や技能を身につけました。災害時、障害のある方に必要なことへの理解が深まり、地域の防災意識も高まりました。



地元の防災士による講義。
児童・生徒は災害を自分ごととして考えることを学んだ

減災教育
プログラムの
詳細はこちら



ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクト

事業目的 UNESCO の「教育の未来報告書」を踏まえて、
学校で行うSDGsの各課題への取り組みを推進する。

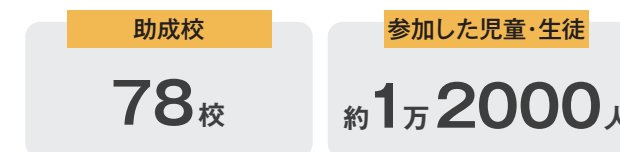
教育の未来を見据えてSDGsの課題に取り組む

2024年度は、過去に助成をしていない地域や離島の学校を含む全国の78校に助成を行いました。助成校の多くが、校内での活動にとどまらず、地域と協力したり、国内外の学校と交流・協働したりして活動し、さまざまなアプローチを通じてSDGs達成に向けた取り組みを行いました。

事業概要

- 対象
ユネスコスクールおよびユネスコスクール・キャンディデイト
※ユネスコスクール・キャンディデイトとは、チャレンジ期間を終了し国内審査を終え、UNESCOに申請中(または行う)段階にある学校。
- 内容
取り組みに必要な教材費や活動費を助成(10万円/校 ※30万円/校のケースもある)、活動発表会を実施。
協力:株式会社三菱UFJ銀行／後援:日本ユネスコ国内委員会

2024年度事業成果



累計成果

2009~2024年度



伝統から新しい時代を切り拓く

京都市中心部にある下京渉成小学校(京都府)では、豊かな自然と伝統文化の継承を目的に、地域のさまざまなステークホルダーと連携しながら活動を進めており、他県から移住してきた人たちが地域の歴史や伝統文化を理解することにも貢献しています。また、主体的・対話的な学びを重視し、人権教育にも力を入れるなど、伝統を守りながら新しい時代を切り拓く活動に取り組んでいます。

伝統的な京野菜を栽培した



平和な世界の実現に向けて 若者ができる国際支援

名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)は、国内外の学校と協働しながら、戦争が引き起こす悲劇を繰り返さないよう日頃からチャリティ活動を行い、シリア難民やカンボジアの貧困地域を支援しています。支援の輪を広げようと積極的に発信活動もしており、ユネスコスクール全国大会では生徒たちが分科会のファシリテーターを務めました。

チャリティイベントで販売した綿菓子の売り上げは
難民支援に使われた

事業目的 地域協働型の包括的な教育支援を通して、相対的貧困やさまざまな理由で困難な状況に置かれた子どもたちを支援する。

子どもたちが夢と希望を抱ける社会へ

2024年度は、9つの地域のユネスコ協会・クラブへの助成を通して、さまざまな理由により困難な状況に置かれた子どもたちのために、各地域で学習の機会を設けたほか、体験活動や啓発活動を実施しました。また、包括連携協定を締結した山口県宇部市では、子どもたちへの体験支援を行いました。

事業概要

■ 対象

日本国内で、経済的に困難な家庭の子どもたち、家庭内に居場所がない子どもたち、家庭環境により体験機会が限られる子どもたち、学校外で学びの場が得られない子どもたち

■ 内容

日本各地で、自治体や教育機関、地元企業、地元NPOなどと連携し、学習支援、食事支援、居場所支援、体験支援など、子どもたちの社会を生き抜く力を育む包括的教育支援を実施。

2024年度事業成果

活動した地域

9地域

活動を通じて支援した人数

子ども**6588**人
保護者・地域関係者**2757**人

直轄支援

11件

直轄支援を通じて支援した人数

子ども**347**人
参加したボランティア**62**人

各地ユネスコ協会・クラブの活動に助成



助成事業例：無料学習支援事業「ユネスコ寺子屋サロン」
高松ユネスコ協会（香川県）

日本各地の9つのユネスコ協会・クラブで実施する、困難な状況にある子どもたちを対象とした学習支援、居場所支援、体験支援、保護者支援、地域啓発のためのフォーラム実施に助成しました。3地域は前年からの継続助成で、6地域が新規の助成となりました。

宇部市との連携協定に基づく活動

山口県宇部市との包括連携協定（2023年9月締結）に基づき、官民連携による「こどもの未来共創ワーキングチーム」※を組成。困難な状況にある子どもたちを対象とする、地域協働包括型教育支援の推進体制を構築し、2024年度は、体験支援活動を実施しました。



山口大学学生団体Ube col（宇部カレ）主催の
「こどもワンダーピクニック ときわ公園&ときわ動物園」

※こどもの未来共創ワーキングチームのメンバー：学生団体Ube col（宇部カレ）、宇部市社会福祉協議会、宇部商工会議所、株式会社宇部日報社、宇部ユネスコ協会、一般社団法人キッズラップ、市民活動センター「青空」、日本航空株式会社、株式会社ファーストリテイリング、株式会社山口銀行宇部支店、国立大学法人山口大学、UBE株式会社

9団体の助成活動と日ユ協連の体験支援活動の紹介

2024年度は9団体に助成を行ったほか、直轄支援として当協会連盟による体験支援を行いました。
ここでは、助成活動のうちの一つを紹介します。

ピックアップ団体紹介

過疎地での子ども支援「おちあい おむすび ぷろぐらむ」

津山ユネスコ協会 岡山県真庭市

たくましく成長してほしいから

岡山県北部の中山間地域にある真庭市落合地区は、生徒の大半が近隣の高校・大学へと流出し、少子化が進む消滅可能性都市です。相対的貧困にある家庭やひとり親家庭など、苦しい状況にある子どもたちにたくましく成長してほしいとの思いから、学習支援・体験支援・食事支援という3分野で、おむすびのような三角形の組織編成で活動しています。
元教員が学習支援の講師を務め、地域のシニアの方が得意分野を生かして茶道教室・図画工作教室・科学実験教室・野菜の収穫などの体験支援や、子ども食堂の運営を担うなど、シニア世代のマンパワーがフル活用されています。

無料学習支援でお互いに
教え合う生徒たち。
奥は講師役の元教員



子どもたちに寄り添った支援

学習支援では、各自が教材を持参して自主勉強し、わからないところを講師が教えています。参加している小学生の保護者からは「学校での学習はさらっと流れてしまい、わからなくても聞きにくいようだ。ここでは聞きやすいので助かっている。家では机に向かわないが、ここでは学習できており、学力が伸びた気がする」との声がありました。地域の学校の先生からも、子どもに寄り添った支援に感謝する声が寄せられています。

活動紹介 9地域の助成活動+日ユ協連による体験支援活動

1 | 維新隊ユネスコクラブ

群馬県前橋市

食事つき個別指導型無料塾 「ステップアップ塾」

毎週土曜日にボランティア講師が、小学4年生～中学3年生を対象に包括的な学習支援を実施。
食事つき無料自習室「STUDY CAMP」
月～金曜日の18～21時に、地域で困難を抱えている小学4年生から高校3年生を対象に、無料で利用できる自習室を解放。

2 | 蓮田・白岡地方ユネスコ協会

埼玉県蓮田市

U-スマイリー

～みんなで作るこども・若者の居場所～

毎週月曜日、行政センターの会議室で、小学生～高校生を対象に「あそび場・しゃべり場」「まなび場」「ときどきクッキング」を実施。こども食堂や不登校児の居場所などとも連携。東京海洋大学などと連携した感動体験も提供。

3 | 成田ユネスコ協会

千葉県成田市

第2回成田こどもどまんなかフォーラム

2月24日、成田市公津の杜コミュニティセンターで、地域での継続的な連携・協働に向けて、こども家庭庁参与の川瀬信一氏を講師とした基調講演「こどもたちの声をきこう!」と、不登校生による若者会議、子育て世帯向けのサイドイベントを開催。

4 | 八千代ユネスコ協会

千葉県八千代市

SDGsベース～子どもの居場所ネットワーク
コミュニティスペース「OKAMURA SDGs BASE」で、八千代ユネスコ協会がハブとなり、困難な状況にある子どもたちの支援団体（子ども食堂、不登校の子どものための学びの場、中高生の居場所など）のネットワークをつくり、物資や人材の支援を実施。

5 | 京都ユネスコ協会

京都府京都市

こども食堂プロジェクト ひとり親家庭、不登校、ヤングケアラーなど多様な要因で居場所のない子どもたちを対象に、月1回、食事提供と学習支援活動を実施。

学習支援プロジェクト 月1回、日曜日に旧山王小学校で、不登校の児童・生徒を対象に、総合的・芸術的アプローチによるクラスを開催。

児童・生徒を対象に、総合的・芸術的アプローチによるクラスを開催。

6 | 箕面ユネスコ協会

大阪府箕面市

学習支援事業「てらこや」

公営住宅の集会所などで、週3回、小学生・中学生を対象に、基礎学力・学習習慣の獲得や子どもの自尊心向上、世代を超えた関係づくりを目的とした、大学生ボランティアによる学習支援を実施。地域の子ども食堂との連携により、食事支援も行う。体験支援として平和学習ツアーを実施。

7 | 津山ユネスコ協会

岡山県真庭市

おちあい おむすび ぷろぐらむ（上記参照）

毎週水曜日の18～20時、スーパーマーケットのサロンで、小学生・中学生を対象とした基礎学力向上のための学習支援を実施。毎週土曜日には、地区ごとに調理を協働で行い食事を提供。長期休暇などには、茶道・料理等の体験支援のほか、農業体験や広島平和学習ツアーを実施。

8 | 高松ユネスコ協会

香川県さぬき市

ユネスコ寺子屋サロン

毎週日曜日の10～12時、公民館で、困難な状況に置かれた小学生・中学生を対象に、元教員や大学生による学習支援を実施。子どもたちや保護者の不安や孤独感の軽減と自己肯定感の向上を目的とした、日常の困りごと相談も行う。体験支援として、屋島自然体験学習ツアーを実施。

9 | 高知ユネスコ協会

高知県高知市

教育シンポジウム

「みんなで語ろう高知家の未来と教育」

2月23日、高知会館で、高知工科大学の中村直人教授による格差をテーマとした基調講演・シンポジウムを開催。

食事つき個別指導型無料塾

「ステップアップ塾」

毎週土曜日、ボランティア講師が、小学4年生～中学3年生を対象に包括的な学習支援を実施。

食事つき無料自習室「STUDY CAMP」

月～金曜日の18～21時に、地域で困難を抱えている小学4年生から高校3年生を対象に、無料で利用できる自習室を解放。

10 | こどもの未来共創 ワーキングチーム

山口県宇部市

日ユ協連による体験支援活動

宇部市内の困難な状況にある子どもたちを対象に、ピクニック、サッカー観戦、バスケットボール観戦、職業体験、デイキャンプ、プログラミング教室、ケーキづくり、体験旅行（福岡・沖縄）など、11の活動を実施。

U-Smile
プログラムの
詳細はこちら



世界寺子屋運動

事業
目的

教育を必要とする人びとに学びの機会を提供し、
貧困のサイクルを断ち切る。

すべての人に教育を！

2024年度は、貧困に苦しむ人びとに対する学びの機会の提供を、カンボジアとネパールに加えアフガニスタンでも、計画に沿って実施することができました。一方、ミャンマー事業では、前年度から引き続いてバングラデシュに避難するミャンマー人への識字教育や技術訓練を計画通り8月まで実施し、女性に対するITを活用した基礎教育事業の計画も進めました。

事業概要

■ 対象

紛争や経済的事情で学校に通えない子どもたちや、教育を受けられないまま大人になった人びと

■ 内容

寺子屋というノンフォーマル教育施設を通じ、学びの土台となる識字教育や、小・中学校教育の学びなおしの機会を提供するほか、地域のニーズに応じて職業訓練などを実施。

現地事務所：カンボジア、アフガニスタン

カウンターパート：ネパール・ノンフォーマル教育ナショナルリソースセンター、UNESCOダッカ事務所

累計成果

1989～2024年度

参加国・地域

44カ国・1地域

参加者数(支援者数)

135万人

カンボジア



2024年度事業成果

識字クラス

527人

幼稚園クラス

145人

小学校クラス

246人

中学校クラス

49人

進学支援

60人

小口融資(新規)

140人

こめ
米銀行(貸付)

115人

野菜栽培

40人

寺子屋建設

1軒

累計成果

2006～2024年度

寺子屋建設

23軒

他、各種教育・
研修・収入向上
プログラム

高校進学資格が得られる中学校クラス「LSEP」で 初めての卒業生を輩出！



テストを受ける
LSEPクラスの
生徒たち

2022年に導入した、普通科高校進学を目指す教育プログラム「LSEP」では、2年間の学習を終え、2024年10月に初めての卒業生を輩出しました。9科目の最終試験に合格した学生のうち、12名が地元の公立高校へ進学を果たしました。高校進学は、子どもたちにとって将来の選択肢をさらに広げる大きな一歩となります。

23軒目の寺子屋が完成しました！

2024年12月、シェムリアップ州アンコールトム郡チュブタトラウコミュニティに新たな寺子屋が完成しました。この地域はかつて内戦の最前線となった影響で、現在でも成人の約15%が非識字者であり、約30%の子どもが小学校に通っていません。基礎教育



や職業訓練を提供し、住民の学びや生活向上を支える拠点となることが期待されています。

完成した寺子屋の建物を
現地の人びとへ引き渡した

ネパール



2024年度事業成果

幼稚園クラス

201人

小学校クラス

268人

家庭内識字クラス

200人

識字と職業訓練クラス

201人

研修活動

573人

累計成果

2002～2024年度

寺子屋建設

21軒

他、各種教育・研修・
収入向上プログラム

幼稚園クラスとともに保護者への研修を実施



ポスターでネパール語の文字を学ぶ

2024年度は、10軒の寺子屋で計201人の子どもたちが学びました。子どもたちは、ポスターなどを活用してネパール語や英単語を学ぶほか、挨拶や手洗い、歯磨きの重要性についても学習。また、子どもたちの健やかな成長を支えることを目的に、母親201人を対象として、幼児の発育、栄養、ワクチン接種などに関する研修も実施しました。

地方政府と寺子屋の連携強化のための研修を実施

ネパールでは、義務教育課程や生涯学習、寺子屋運営を地方自治体が所管しています。そのため、事業終了後も各寺子屋が地方政府の支援を受けて持続的に運営されるよう、市長や教育担当官、寺子屋運営員を交えた研修を実施しました。各寺子屋が事業報告を行うとともに、地方政府から寺子屋への要望などの意見交換が行われました。



カピルバストゥ市で
行われた研修

ミャンマー バングラデシュ



事業概要

■ 背景 2017年、ミャンマー西部ラカイン州で国軍が大規模軍事介入を行い、70万人以上のロヒンギャの人びとがバングラデシュに逃れました。2021年のクーデターの影響で「ミャンマー寺子屋プロジェクト」の実施が困難となったため、2023年度から、バングラデシュでUNESCOダッカ事務所が行うミャンマー難民支援への協力を行っています。

■ 対象 ミャンマーからバングラデシュに逃れてきた難民(青年)

■ 内容 プロジェクトでは、バングラデシュ南東部コックスバザールで、ミャンマー難民(ロヒンギャ)の青年を対象に識字教育と技術訓練を実施。さらに、難民キャンプ周辺(ホストコミュニティ)に住むバングラデシュの青年向けにも技術訓練を提供。

2024年度事業成果

識字および
職業訓練クラス

300人

難民キャンプ 250人
ホストコミュニティ 50人

難民キャンプで識字と収入に つながる技術を

2024年度も引き続き、ミャンマー難民の青年を主な対象とした識字教育と職業訓練を実施しました。修了者は基礎的なミャンマー語と英語の識字能力を習得したほか、職業訓練を受けた80%以上が、技術を活用してキャンプ内の平均を上回る収入に。また、竹細工や理容技術などの職業訓練に使用するマニュアルも新たに作成しました。

難民キャンプで識字クラスに参加した女性たち



アフガニスタン

2024年度事業成果

職業訓練クラス

200人

貧困地区で政変後初となる職業訓練事業を実施

2021年8月の政変後、経済の混迷から貧困に苦しむ人びとが増加する状況を受け、首都カブール市内2カ所で成人男性を対象とした職業訓練事業を実施しました。労働社会問題省の協力のもと、受講希望者の多い貧困地区で、2024年7月から6ヵ月間、就職に有利と考えられる裁縫、配電、大型・小型家電修理の職業訓練コースを10クラス開講し、200名が受講しました。

2025年1月の修了試験では196名が合格し、修了証書授与式には、労働社会問題省の副大臣ら多数の高官が参加したことから、人材育成事業に対する政府の期待の高さがうかがえます。受講者には、ミシンなど必要なツールを提供するとともに、定期的な連絡を通じて就業や収入面などについてフォローアップを行います。



溶接技術を熱心に学ぶ受講者



修了証書を手にほっとした表情(配電コース)

累計成果

2002～2024年度

寺子屋建設

17軒

他、各種教育・研修・収入向上プログラム

学習者の声

オミッドさん 大型家電修理コース

高校卒業後、安定した収入がありませんでしたが、もともと家電修理に興味があったので、案内を見てすぐに申し込みました。コース修了後、まずは自宅の冷蔵庫を修理して家族に実力を認めてもらい、冷蔵庫修理店の開業資金を支援してもらいました。徐々に収入が増えており、いずれは研修生を増やして技術を伝えていきたいです。

書きそんじハガキ・
キャンペーン2024

身近なもので世界寺子屋運動に協力！

タンス遺産は世界を救う切り札になる！

総金額

約3518
万円相当(2023年12月1日～
2024年11月30日の期間)

件数

ユネスコ協会・
クラブ 154件
団体・企業・
個人 1378件

合計1532件

世界寺子屋運動
について
詳しくはこちら

一杯のスプーン

事業
目的飢えや病気で苦しむ人びとのために、
医療、保健および食糧支援を実施する。

みんなの「スプーン一杯分」の支援で、多くの人びとの健康状態を改善

2024年度は、ネパールでは、健康診断を受ける機会が限られる農村部の人びとに対し、眼科や歯科、産婦人科の巡回検診を行いました。また、アフガニスタンでは、経済状況が悪化し、栄養不良の子どもが増える中、栄養補助食品や貧しい人びとに医療を届けるクリニックへの支援を実施しました。

事業概要

■ 対象

途上国で食糧不足に陥って
いる人や基礎的な医療を
受けられない人びと

■ 内容

ネパールでは寺子屋が実施する医療保健事業をサポート。
アフガニスタンでは首都カブールの医療機関を通じて経済的に苦しい人びとへの医療や食糧支援を実施。
カウンターパート: サハ医療センター(アフガニスタン)、ネパール・ノンフォーマル教育ナショナルリソースセンター(ネパール)

ネパール



2024年度事業成果

巡回眼科検診

1665人

母子保健研修

1290人

生理ナプキン作成

627人

その他(歯科・一般検診等)

1403人

医療が不十分な地域で巡回医療や研修活動を実施

ルンビニの農村部で17軒の寺子屋が企画した医療・保健事業を支援しました。寺子屋が病院や専門家と連携し、ふだん健康診断を受けない人びとを対象に、眼科や産婦人科、歯科の巡回検診を行いました。また、地域で利用可能な食材を使った栄養価の高い食事づくりや生理ナプキンづくりなどの実演研修も実施しました。



寺子屋で行われた巡回歯科検診

「ユネスコ協会・
ウクライナ緊急募金」報告

2022年3月4日～2024年3月31日

2022年のロシア軍によるウクライナ侵攻を受け、ウクライナ避難民のための支援を行いました。当連盟に寄せられた8214万7205円のご寄付をもとに、ウクライナ、ルーマニア、スロバキアの現地団体と連携し、宿泊・食糧・生活物質支援を実施しました。

※募金の受付は終了いたしました。

アフガニスタン

2024年度事業成果

医療センターを
受診した人12万
5596人栄養失調児
への支援

2294人

子どもたちに栄養補助食品を支給

サハ医療センターに対して、医薬品の購入支援に加え、栄養不良の子どもたちに豆や砂糖などの栄養補助食品を提供しました。その結果、1年間で延べ2294人の子どもの栄養状態の改善に貢献しました。しかし、経済状況の悪化は深刻で、多くの母親から「1日おきにしか食事を提供できない」といった苦しい声が寄せられました。

パレスチナ・ガザ地区への
支援予定について

パレスチナ・ガザ地区では、イスラエルとの武力衝突が長期化しています。この状況を受け、ガザや周辺国に逃れた避難民に対する支援を2025年度より開始するため、現在、同国ユネスコ国内委員会やNGOなどから情報を収集しています。

未来遺産運動

事業目的 地域の有形・無形の文化や自然を
100年後の子どもたちにつなぎ、伝える。

地域に根ざした伝統文化や自然を次世代に

2024年度は、「プロジェクト未来遺産2024」の募集に対し、全国から32件の応募がありました。専門家による書類選考と現地調査を経て、未来遺産委員会での最終選考の結果、4プロジェクトの登録が決定しました。

事業概要

■ 対象

市民が主体となって地域の有形文化、無形文化、自然の保護・継承に取り組む活動

■ 内容

市民による保護・継承活動を「プロジェクト未来遺産」として登録し、各地の登録プロジェクトに対する企業や個人などの協力の輪を広げる。企業との協働事業や、未来遺産ニュースの配信などの広報活動も実施。
特別協力：東日本旅客鉄道株式会社、住友ゴム工業株式会社、ジェットスター

2024年度事業成果

「プロジェクト未来遺産2024」の登録

4件

累計成果

2009～2024年度

「プロジェクト未来遺産」の登録

87件 (41都道府県)

「プロジェクト未来遺産2024」登録決定

標津遺跡群の魅力世界発信プロジェクト



特定非営利活動法人
自然・文化遺産
保存活用ネット
北海道標津郡標津町

日本最大規模の竪穴住居跡群である標津遺跡群と周辺の自然環境の保護や、価値の普及を目指す活動。

ガイドが竪穴住居群について説明

小鹿野歌舞伎継承プロジェクト



小鹿野歌舞伎保存会
埼玉県秩父郡小鹿野町

子ども歌舞伎や小中学校での指導、裏方の養成講座の開催等、総合的に小鹿野歌舞伎の継承を行う活動。

小鹿野春祭りでの子ども歌舞伎 ©山口清文

「寺崎のはねこ踊り」保存・伝承プログラム ～先人の財産を未来へ～



寺崎はねこ踊り保存会
宮城県石巻市

市内外の教育機関との連携を通じた積極的な後継者の育成と普及活動を通じて、寺崎のはねこ踊りを継承する活動。

ものうふれあい祭でははねこ踊り

クモが紡ぐ！地域のきずな ～日本三大くも合戦 横綱決定戦～



富津フンチ愛好会
千葉県富津市

地元の小学校と連携し、子どもたちにクモの採取・飼育方法を伝え、富津市の「くも合戦」を次世代に継承する活動。

白熱する戦い

企業との連携

地域と企業がともに地域の遺産を守る

全国各地にある「プロジェクト未来遺産」の地域で、企業の社員が間伐や除草などの環境保全や、ビオトープ整備などの生物多様性保全活動、伝統的町並みの保全活動などに参加し、協力の輪が広がっています。企業との連携を通じて「プロジェクト未来遺産」の活動の広がりと継承を目指しています。

「プロジェクト未来遺産」一覧 ブロック別・登録順

北海道 (6)

- 野生サケのふるさとウロロ川保全調査・普及プロジェクト(北海道白老郡白老町)
- ★未来人(みらいびと)への贈り物★宗谷防人物語(そうやさきもののがたり)(北海道稚内市)
- 知床のヒグマとともに生きていくために、全国の教室に本物を届けよう！ヒグマ授業サポートプロジェクト(北海道斜里郡斜里町)
- 絶滅危惧種イトウ(サケ科)北海道尻別川個体群の復元活動(北海道虻田郡ニセコ町)
- 昭和新山ジオツアー減災文化継承プログラム(北海道有珠郡壮瞥町)
- 標津遺跡群の魅力世界発信プロジェクト(北海道標津郡標津町)

東北 (11)

- 久保川イーハート世界自然再生事業(岩手県一関市)
- 稲生川(いなおいがわ)開削と三本木原(さんぼんぎはら)開拓の志を活かし、共創郷土の伝統を未来に(青森県十和田市)
- 「月浜のえんずのわり」を未来につなげよう(宮城県東松島市)
- 新津丘陵の自然・森林・歴史遺産の保全・整備プロジェクト(新潟県新潟市)
- 町屋再生プロジェクト 市民基金設立による町屋の外観再生事業(新潟県村上市)
- おらほのながめづくりー『遠野物語』の文化的景観を守るー(岩手県遠野市)
- 気仙沼港と風待ちの風景 ～歴史的建造物の復興プロジェクト～(宮城県気仙沼市)
- 古町花街における伝統文化と歴史的景観の保全・継承活動(新潟県新潟市)
- 秋田の聖農・石川理紀之助の教えの継承と「草木谷」の環境保全活動(秋田県湯上市)
- 巨大防浪堤を未来へ ～岩手県宮古市田老の津波防災伝承活動～(岩手県宮古市)
- 「寺崎のはねこ踊り」保存・伝承プログラム～先人の財産を未来へ～(宮城県石巻市)

関東 (14)

- 神楽坂をますます粹に ～「粋益(いきまし)」プロジェクト(東京都新宿区)
- 水と林と田んぼのハーモニー 里山がくれた生き物と歴史の玉手箱 穴塚の自然と文化を次世代に(茨城県土浦市)
- 「谷中のたから」体験・発見・交流プロジェクト 江戸～東京のまちと自然、建物、生活文化の保全活用・体験事業～(東京都台東区)
- 渡良瀬川源流の森再生プロジェクトー足尾銅山の荒廃地に植樹ー(栃木県日光市)
- 水戸の歴史資産“偕楽園と弘道館”の魅力を子どもたちに伝える活動(茨城県水戸市)
- 佐野天明(命)鎗物のすぐれた伝統文化を未来につなぐ活動(栃木県佐野市)
- 世界で一つだけの「元荒川サシミヨ息地」保護活動(埼玉県熊谷市)
- 首都圏の大規模緑地・見沼たんぼを100年後の子ども達に残す(埼玉県さいたま市)
- 「雑司が谷がやがや」プロジェクト ～歴史と文化のまちづくり(東京都豊島区)
- 玉川上水・分水網の保全活用プロジェクト(東京都小平市)
- 沼須人形芝居継承者プロジェクトー江戸時代の技を今につなぐ～(群馬県沼田市)
- こんぶくろ池自然博物館～市民で育てる百年の森プロジェクト～(千葉県柏市)
- 小鹿野歌舞伎継承プロジェクト(埼玉県秩父郡小鹿野町)
- クモが紡ぐ！地域のきずな～日本三大くも合戦 横綱決定戦～(千葉県富津市)

中部東 (5)

- 木曾丸ごと夢作り活動(長野県木曾郡)
- 生態系豊かな森の再生と豊かな森が持つ可能性の追求(長野県上水内郡信濃町)
- ドブ川化した川を市民力が結集して蛸が乱舞する清流に再生・復活(静岡県三島市)
- 火の見櫓からまちづくり ～地域を見守る安全遺産を未来へつなぐ～(静岡県富士市)
- 源流大学 ～知識だけでなく、生きた知恵を次世代へ～(山梨県北都留郡小菅村)

中部西 (10)

- いきもの不思議の国・中池見湿地(福井県敦賀市)
- 赤瓦と煙出しの里 加賀ひがしたにの未来プロジェクト(石川県加賀市)
- 現代の癒し「布橋灌頂会(ぬのばしかんじょうえ)」を永遠に語り継ぐために！(富山県中新川郡立山町)
- 伝統行事を支えていく未来の担い手育成事業(三重県名張市)
- 越前にコウノトリ呼び戻す田んぼファンクラブ(福井県越前市)
- みんなの手で守り、未来に伝える！日本の原風景『丸山千枚田』(三重県熊野市)
- 愛知万博の理念と成果の継承 ～海上(かいしよ)の森・保全活用プロジェクト～(愛知県瀬戸市)
- 福野夜高祭～「災厄からの復興の心」を引き継ぐプロジェクト～(富山県南砺市)
- 美濃流し仁輪加 ～地方に華咲く言葉の文化～(岐阜県美濃市)
- 若狭町の歴史遺産の縄文文化を全国へ(福井県三方上中郡若狭町)

近畿 (9)

- 葵プロジェクト(京都府京都市)
- ならまち わらべうたフェスタ(奈良県奈良市)
- 孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト(和歌山県海南市)
- 天神崎(てんじんざき)の自然の維持と環境教育の推進(和歌山県田辺市)
- ニッポンバラタナゴを守る伝統的な溜池浄化法“ドビ流し”の継承(大阪府八尾市)
- いやしの里深野を目指して。希少になったササユリ保護・増殖活動(奈良県宇陀市)
- 銀の馬車道プロジェクト～日本初の高産産業道路を未来につなぐ～(兵庫県姫路市)
- 湖国の原風景 権座(ごんざ)水郷を守り育てる活動(日本の里百選)選定地域(滋賀県近江八幡市)
- 京都桂川の生物多様性保全ーカヤネズミのすむ茅原を未来へつなぐ(京都府京都市)

四国 (5)

- みんなでかぶこう!! プロジェクト～農村歌舞伎祇園座(香川県高松市)
- 世界に伝えたい!! 阿波人形浄瑠璃の魅力未来遺産プロジェクト(徳島県徳島市)
- 次世代につなごう!! 「千年サンゴ」保全プロジェクト(徳島県海部郡牟岐町)
- 美の里を未来へ 石畳地区・村並み保存活動(愛媛県喜多郡内子町)
- 未来へつなぐ子ども達の健康と健やかな成長を ～田井の子供神相撲～(香川県高松市)

中国 (13)

- 日本の記憶が息づく島OKIを守り伝えるプロジェクト(島根県隠岐郡隠岐の島町)
- このままの瀬(とも)がいい!住民の手による歴史的港湾都市「瀬の浦」の歴史・文化・自然の継承と再生(広島県福山市)
- 未来につなごう! 尾道・坂の町再生プロジェクト(広島県尾道市)
- 笑い講とお笑い講で世界中に笑いを広める運動(山口県防府市)
- 英田(あいだ)上山棚田再生プロジェクト ～未来へつなぐ棚田8300枚～(岡山県美作市)
- まちにあかりを灯すプロジェクト(岡山県倉敷市)
- 榎野川(ふしのがわ) もり・かわ・うみを再生し人と人をつなぐプロジェクト(山口県山口市)
- 萩のおたからにみんなで親しみ、みんなに広めるプロジェクト(山口県萩市)
- 被爆樹木が世界に伝える未来へのメッセージ「平和・希望・共生」(広島県広島市)
- 山口驚流狂言伝承者育成プロジェクト～子ども達に残す驚流狂言～(山口県山口市)
- 三石灯りの街～子どもたちと伝える耐火煉瓦で栄えたまちの記憶～(岡山県備前市)
- 伝統芸能石見神楽を未来に継承サポートプロジェクト(島根県浜田市)
- 歩こう子どもたち!～未来につながる「備中と道」～(岡山県備前中エリア)

九州 (14)

- 八女(やめ)福島 空き町家と伝統工法の再生による町並み文化の継承(福岡県八女市)
- 現代版組踊「肝高の阿麻和利(あまわり)」と「キムタカのマチづくり」(沖縄県うるま市)
- 阿蘇千年の草原を未来へ引き継ごう(熊本県阿蘇市)
- 未来に遺す「生きた鉄道博物館～100年レイル肥薩線への情熱～」(熊本県人吉市)
- 千年の時を刻む荘園村落遺跡「田染荘(たしぶのしょう)小崎」(大分県豊後高田市)
- 生きもの元氣、子ども元氣、漁師さんも元氣な中津干潟保全活動(大分県中津市)
- 鬼と炎が舞う長岩屋修正鬼会(ながいわやしゅじょうおにえ)(大分県豊後高田市)
- 博多湾・和白(わじろ)干潟の自然保護活動(福岡県福岡市)
- 肥前浜宿の歴史的まちなみの保存と醸造文化の継承(佐賀県鹿島市)
- 子供と命をつなぐ ジッキョヌホーのトウギョの里プロジェクト(鹿児島県大島郡知名町)
- 「くも合戦」保存プロジェクト(鹿児島県給良市)
- 創作組踊「糸蒲の縁(いとかまのえん)」で地域の子ども達を育み新たな文化を繋ぐ(沖縄県中頭郡中城村)
- 大東太鼓 ～北大東島の子どもたちが伝える開拓の文化～(沖縄県島尻郡北大東村)
- 五島に残る玉之浦神楽～子どもたちへの伝承プロジェクト～(長崎県五島市)

2009～2024年度
累計

87
プロジェクト

世界遺産活動

事業目的 人材育成や修復、世界遺産教育を通じて、途上国の世界遺産の保護・保全を行う。

人類共通のたからものを未来の世代へ引き継ぐ

カンボジア



世界遺産名 アンコール プロジェクト名 アンコール教育教材開発プロジェクト

事業概要

■ 対象

カンボジアの世界遺産「アンコール」遺跡群の近隣9の寺子屋に通う子どもたち、公立の小学校に通う子どもたち、寺子屋および公立小学校の教員

■ 内容

世界遺産教育教材(塗り絵教材)の開発、教員研修、アンコール遺跡群の寺院や壁画についての授業、遺跡を巡る訪問学習。

2024年度事業成果

世界遺産訪問学習の参加者

9の寺子屋 13クラスの子ども 268人・教員13人
公立小学校の子ども 50人・教員3人
(座学を含めた学習者全体の数は、寺子屋の子ども246名、公立小学校の子ども500名)

塗り絵教材配布数

605冊

指導者研修会の参加者数

23人

15年目を迎えた 世界遺産学習プログラム

9月に寺子屋と公立小学校の教員向け研修会を2日間かけて開催し、寺子屋では10月から、小学校では11月からアンコール遺跡の授業を開始しました。アンコール遺跡を代表する16のモチーフの歴史や意味を座学で学んだ後、実際に遺跡を訪れ、学びを深めました。

寺子屋と公立小学校
それぞれで課外学習
を行った



インドネシア



世界遺産名 ボロブドゥール寺院遺跡群 プロジェクト名 世界遺産ボロブドゥール地域に根差したSDGsの実現

事業概要

■ 対象

インドネシアの大学生、ボロブドゥール地域周辺に暮らす人びと
ボロブドゥール地域のジャワの伝統的な建築様式を持つ家屋

■ 内容

2023年度よりUNESCOジャカルタ事務所と協力して、本事業を開始しました。本事業では、伝統的な家屋の保全に関するガイドラインの作成を通じた遺跡周辺の文化的景観の保全と、そこに暮らす住民の課題解決に取り組む大学生向けの研修の2つのプログラムを実施します。
カウンターパート: UNESCOジャカルタ事務所

2024年度事業成果

課題解決コンペティションへの参加者数

100人

大学生向けにオンラインワークショップを開催

現地の大学生向けプログラムで、大学生や地元のユースを中心に世界遺産の課題解決プロジェクトを募集し、3件の最優秀プロジェクトが採択されました。また、伝統的な家屋の保全ガイドラインのドラフトが完成しました。

最優秀プロジェクトの一つでは、遺跡のレリーフに描かれている伝統的なダンスを開発し、村の祭りで披露



2000年以降に支援した主な世界遺産 アンコール・バイヨン寺院彫像(カンボジア) / バガン遺跡(ミャンマー) / フィリピン・コルディリエラの棚田群(フィリピン) / 古都ホイアン(ベトナム) / パーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群(アフガニスタン) / カトマンズの谷(ネパール) / 仏陀の生誕地ルンビニ(ネパール) / ボロブドゥール寺院遺跡群(インドネシア)

国際理解・交流プログラム

三菱アジア子ども絵日記フェスタ

子どもたちの絵日記を通じた国際理解教育

絵日記を通じてアジアの子どもたちがお互いの文化を知り、尊重しあう心を育む。

絵日記
特設サイトは
こちら



事業概要

■ 対象

アジアの24の国と地域の子ども(6~12歳)

■ 内容

1990年に国連が制定した「国際識字年」の「全ての人が読み書きできる世界を」という趣旨に賛同し、アジアの子どもたちが絵日記を描いたり読んだりすることが識字教育に結びつくことを期待して開始。

共催: 三菱広報委員会、アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)

23の国と地域から3万3793の絵日記作品が!

1990年にスタートした事業の第16期では、日本を含む23の国と地域から3万3793作品が集まり、国際選考会で各国のグランプリ受賞作品が選ばれました。グランプリ受賞者は、2025年夏に大阪で開催される国際表彰イベントに招待されます。

各国のグランプリ受賞作品などを決める国際選考会



高校生カンボジアスタディツアー

私も、あなたも、「世界の中の一人」を実感

教育・国際協力の視点からカンボジアが抱える課題を学び、国際理解を深めるとともに、自分たちができることを考える。

スタディ
ツアーの
詳細はこちら



事業概要

■ 対象

ユネスコスクール(キャンディデート校含む)の学校長、もしくは地域のユネスコ協会・クラブからの推薦を受けた高校生

■ 内容

寺子屋をはじめとするカンボジアにおける国際協力の現場を訪問し、現地の人びととの交流を通して教育を中心としたカンボジアの諸課題と解決策を考える。

共催: 公益財団法人かめのり財団

「行動に移す」ことの大切さを学ぶ

参加した高校生たちは、寺子屋や学習者の自宅を訪問し、写真や本、ネットではわからない現地の人たちの生活や考え方に触れました。その経験は、周囲に伝え、支援するという行動へとつながり、帰国後は寺子屋に通う子どもたちにサッカー用具を届ける活動を始めました。

寺子屋の子どもたちと
折り紙で交流



寺子屋リーフレット制作プロジェクト

1枚のリーフレットから、世界を変えたい

識字問題を通して、子どもたちが世界の現状を学び、気づき、行動する力を育む。

リーフレット制作で広がる識字問題への関心

児童・生徒が制作したリーフレットは、学校内外で広く展示され、多くの人に世界の識字問題や教育の大切さを伝えました。一般公開されたウェブ投票も盛り上がり、これをきっかけに書きそんじハガキの回収を始めた人もいるなど、支援の輪が広がりました。



2024年度最優秀賞(日本ユネスコ協会連盟賞)を受賞した
東京都立三田高等学校 小柳綾音さんの作品

団体概要

名称

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

創立

1948年5月1日

日本ユネスコ協会連盟とは

UNESCO(国際連合教育科学文化機関)は、第2次世界大戦の反省から、「二度と戦争を繰り返さない」という決意のもと、1946年11月、国連の専門機関として誕生しました。そして、その翌年、UNESCO憲章の理念に感銘を受け、日本のUNESCO加盟を目指した人びとによって、民間ユネスコ運動が生まれました。この運動は官民一体の取り組みとして全国に広がり、1951年に日本はUNESCO加盟を果たしました。日本ユネスコ協会連盟は、全国に約270あるユネスコ協会・クラブとともに、今日もUNESCO憲章の理念に基づいて、国内外で活動を行っています。

UNESCO憲章と3つのユネスコ

UNESCO憲章は、政府間での平和構築の努力とともに、世界中の人びとの知的・精神的連帯の上に、永続的な平和が築かれる、と謳っています。UNESCOは他の国際機関にはない市民レベルの活動を生み出し、国連、政府、そして民間が三位一体となって活動することで、平和な世界を実現することを目指しています。

UNESCO憲章

— 前文より抜粋 —

戦争は人の心の中で生れるものであるから、
人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

政府の政治的及び経済的取極のみに
基く平和は、世界の諸人民の、一致した、
しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。

よって平和は、失われないためには、
人類の知的及び精神的連帯の上に
築かなければならない。

世界に広がる民間ユネスコ運動のネットワーク

アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)は、1974年に創設されました。当連盟と「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」(p20参照)を共催するなど、アジア地域での民間ユネスコ運動に重要な役割を担っています。また、1981年に設立された世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟(WFUCA)には93ヵ国が加盟し、世界で5314のユネスコ協会やクラブが活動しています。

代表者

よしき
佐藤美樹

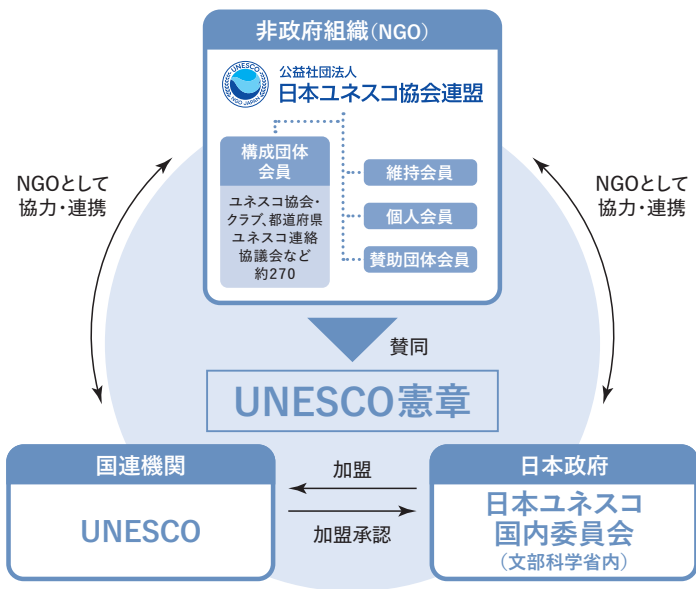
所在地

東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階

UNESCOと日本ユネスコ協会連盟

創設のあゆみ

1945年11月16日	UNESCO憲章採択
1946年11月 4 日	UNESCO創設
1947年 7 月19日	仙台ユネスコ協力会(当時)発足
1947年11月27日	第1回ユネスコ運動全国大会開催
1948年 5 月 1 日	日本ユネスコ協力会連盟(当時)結成
1951年 7 月 2 日	日本のUNESCO加盟
1951年 8 月14日	日本ユネスコ協会連盟に改組
1956年12月18日	日本の国際連合加盟 (太字は民間ユネスコ運動の動きです)



独立採算で運営している公益社団法人です

- 日本ユネスコ協会連盟は、UNESCO、日本政府からは独立した公益法人格を持つ組織です。
- 個人や団体の皆さまからいただく寄付を主な財源としています。
- 税額控除が受けられます。

全国ユネスコ協会・クラブ一覧

268団体／2025年6月1日現在

北海道ブロック(19)

北海道ユネスコ連絡協議会
旭川ユネスコ協会
岩内ユネスコ協会
小樽ユネスコ協会
釧路ユネスコ協会
札幌ユネスコ協会
千歳ユネスコ協会
函館ユネスコ協会
室蘭ユネスコ協会
石狩ユネスコ協会
江別ユネスコ協会
名寄ユネスコ協会
苫小牧ユネスコ協会
倶知安ユネスコ協会
恵庭ユネスコ協会
知床ユネスコ協会
稚内ユネスコ協会
北広島ユネスコ協会
江差ユネスコ協会

東北ブロック(45)

(一社)青森県ユネスコ協会
岩手県ユネスコ連絡協議会
釜石ユネスコ協会
北上ユネスコ協会
花巻ユネスコ協会
前沢ユネスコ協会
水沢ユネスコ協会
盛岡ユネスコ協会
陸前高田ユネスコ協会
久慈ユネスコ協会
東山ユネスコ協会
川崎ユネスコ協会
宮古ユネスコ協会
江刺ユネスコ協会
二戸市ユネスコ協会
平泉ユネスコ協会
一関ユネスコ協会
遠野ユネスコ協会
千厩ユネスコ協会
大船渡ユネスコ協会
浄法寺ユネスコ協会
滝沢ユネスコ協会
衣川ユネスコ協会
一戸ユネスコ協会
宮城県ユネスコ連絡協議会
気仙沼ユネスコ協会
白石ユネスコ協会
(公社)仙台ユネスコ協会
塩釜ユネスコ協会
富谷ユネスコ協会
みやぎ北ユネスコ協会
秋田県ユネスコ連絡協議会
秋田ユネスコ協会
横手ユネスコ協会
酒田ユネスコ協会
福島県ユネスコ連絡協議会
須賀川地方ユネスコ協会
福島ユネスコ協会
会津ユネスコ協会
いわきユネスコ協会
白河ユネスコ協会
郡山ユネスコ協会
郡山次世代ユネスコ協会
(一社)新潟市ユネスコ協会
佐渡ユネスコ協会

関東ブロック(66)

茨城県ユネスコ連絡協議会
土浦ユネスコ協会
ひたちなかユネスコ協会

北茨城ユネスコ協会
水戸ユネスコ協会
茨城県西地方ユネスコ協会
栃木県ユネスコ連絡協議会
足利ユネスコ協会
佐野ユネスコ協会
日光ユネスコ協会
開倫ユネスコ協会
群馬県ユネスコ連絡協議会
太田ユネスコ協会
桐生ユネスコ協会
沼田ユネスコ協会
前橋ユネスコ協会
大泉ユネスコ協会
安中碓氷ユネスコ協会
伊勢崎ユネスコ協会
高崎ユネスコ協会
富岡ユネスコ協会
藤岡地方ユネスコ協会
館林ユネスコ協会
埼玉県ユネスコ連絡協議会
寄居地方ユネスコ協会
(特非)さいたまユネスコ協会
深谷地方ユネスコ協会
越谷ユネスコ協会
蓮田・白岡地方ユネスコ協会
秩父ユネスコ協会
千葉県ユネスコ連絡協議会
柏ユネスコ協会
木更津ユネスコ協会
千葉ユネスコ協会
成田ユネスコ協会
富里ユネスコ協会
(特非)市川市ユネスコ協会
浦安市ユネスコ協会
四街道市ユネスコ協会
船橋ユネスコ協会
八街ユネスコ協会
香取・佐原ユネスコ協会
八千代ユネスコ協会
東京都ユネスコ連絡協議会
朝日生命ユネスコクラブ
(特非)目黒ユネスコ協会
小平ユネスコ協会
まちだ・さがみユネスコ協会
港ユネスコ協会
渋谷ユネスコ協会
大田ユネスコ協会
ユネスコ・アルムニ・クラブ
杉並ユネスコ協会
(特非)としまユネスコ協会
スプリングユネスコクラブ
玉川大学ユネスコクラブ
(特非)維新隊ユネスコクラブ
学び舎江戸東京ユネスコクラブ
(一社)新宿ユネスコ協会
スポーツと平和を考えるユネスコクラブ
ミンガラバー・ユネスコクラブ
立川ユネスコ協会
立教セカンドステージ大学ユネスコクラブ
中央区ユネスコ協会
文京ダイバーシティ・ユネスコ協会
全国的青年連絡組織

中部東ブロック(23)

神奈川県ユネスコ連絡協議会
厚木ユネスコ協会
横浜ユネスコ協会
(特非)鎌倉ユネスコ協会
山梨県ユネスコ連絡協議会
甲府ユネスコ協会
山梨市ユネスコ協会
富士川町ユネスコ協会

忍野ユネスコ協会
富士吉田ユネスコ協会
長野県ユネスコ連絡協議会
飯田ユネスコ協会
松本ユネスコ協会
(特非)木曽ユネスコ協会
諏訪ユネスコ協会
つながるユネスコクラブ
静岡県ユネスコ連絡協議会
磐田ユネスコ協会
清水ユネスコ協会
浜松ユネスコ協会
(特非)静岡ユネスコ協会
沼津ユネスコ協会
伊豆ユネスコクラブ

中部西ブロック(20)

富山県ユネスコ連絡協議会
富山ユネスコ協会
富山ユネスコ協会青年部
氷見ユネスコ協会
南砺ユネスコ協会
石川県ユネスコ協会
ふくいユネスコ協会
岐阜県ユネスコ協会
高山ユネスコ協会
大垣ユネスコ協会
各務原ユネスコ協会
ユネスコクラブ日本ライン
名古屋ユネスコ協会
豊橋ユネスコ協会
三重県ユネスコ連絡協議会
名張ユネスコ協会
津ユネスコ協会
紀北町ユネスコ協会
亀山ユネスコ協会
菟野ユネスコ協会

近畿ブロック(42)

長浜ユネスコ協会
彦根ユネスコ協会
京都府ユネスコ連絡協議会
ユネスコ京都クラブ
舞鶴ユネスコ協会
福知山ユネスコ協会
京都ユネスコ協会
大阪府ユネスコ連絡協議会
エリーニ・ユネスコ協会
(特非)大阪ユネスコ協会
堺ユネスコ協会
箕面ユネスコ協会
(一社)大阪北河内ユネスコ協会
兵庫県ユネスコ連絡協議会
芦屋ユネスコ協会
尼崎ユネスコ協会
(特非)神戸ユネスコ協会
三田ユネスコ協会
宝塚ユネスコ協会
西宮ユネスコ協会
伊丹ユネスコ協会
相生ユネスコ協会
川西ユネスコ協会
丹波篠山ユネスコ協会
姫路ユネスコ協会
三木市ユネスコ協会
淡路島ユネスコ協会
奈良県ユネスコ連絡協議会
奈良ユネスコ協会
天理ユネスコ協会
斑鳩ユネスコ協会
吉野ユネスコ協会

飛鳥・橿原ユネスコ協会
和歌山県ユネスコ連絡協議会
和歌山ユネスコ協会
橋本ユネスコ協会
紀南ユネスコ協会
紀北ユネスコ協会
貴志川ユネスコ協会
新宮ユネスコ協会
岩出ユネスコ協会
伊都・高野山ユネスコ協会

中国ブロック(27)

鳥取県ユネスコ連絡協議会
鳥取ユネスコ協会
米子ユネスコ協会
倉吉ユネスコ協会
出雲地区ユネスコ協会
石見地区ユネスコ協会
岡山県ユネスコ連絡協議会
津山ユネスコ協会
岡山ユネスコ協会
倉敷ユネスコ協会
広島県ユネスコ連絡協議会
尾道ユネスコ協会
広島ユネスコ協会
宮島ユネスコ協会
東広島ユネスコ協会
因島ユネスコ協会
山口県ユネスコ連絡協議会
宇部ユネスコ協会
下関ユネスコ協会
下関ユネスコ協会青年部
徳山ユネスコ協会
長門ユネスコ協会
萩ユネスコ協会
光ユネスコ協会
山口ユネスコ協会
岩国ユネスコ協会
防府ユネスコ協会

四国ブロック(13)

徳島ユネスコ協会
香川県ユネスコ連絡協議会
高松ユネスコ協会
高松ユネスコクラブ
丸亀ユネスコ協会
愛媛県ユネスコ連絡協議会
大洲ユネスコ協会
北条ユネスコ協会
松山ユネスコ協会
今治ユネスコ協会
新居浜ユネスコ協会
四国中央ユネスコ協会
高知ユネスコ協会

九州ブロック(13)

久留米ユネスコ協会
大牟田地方ユネスコ協会
佐賀ユネスコ協会
熊本ユネスコ協会
大分ユネスコ協会
おおいた草の根ユネスコ協会
日南ユネスコ協会
延岡ユネスコ協会
都城ユネスコ協会
鹿児島ユネスコ協会
徳之島ユネスコ協会
沖縄県ユネスコ協会
沖縄でいごユネスコ協会

(一社)…一般社団法人、(公社)…公益社団法人、(特非)…特定非営利活動法人

維持会員／賛助団体会員

2025年7月1日現在 五十音順 敬称略

維持会員 (135)

株式会社IHI／あいおいニッセイ同和損害保険株式会社／旭化成株式会社／朝日生命保険相互会社／朝日不動産管理株式会社／朝日ライフ アセットマネジメント株式会社／株式会社ADEKA／株式会社アドバンテスト／株式会社アルファ／株式会社インフォテック／朝日／株式会社ウィザース／ANAホールディングス株式会社／au損害保険株式会社／エクシオグループ株式会社／株式会社 SBI 新生銀行／NPO法人エスピーネットワーク／NHSインシュアランスグループ株式会社／NX商事株式会社／ NTT株式会社／株式会社NTTデータグループ／NTTドコモソリューションズ株式会社／NTTドコモビジネス株式会社／NTT都市開発株式会社／NTT西日本株式会社／NTT東日本株式会社／NTTファイナンス株式会社／株式会社NTTファシリティーズ／株式会社F.L.P／エフサステクノロジーズ株式会社／MITホールディングス株式会社／株式会社オーシーエス／株式会社大塚商会 城西営業部 渋谷支店／株式会社岡三証券グループ／沖縄ツーリスト株式会社／株式会社オリエントコーポレーション／花王株式会社／株式会社カスタムライフ／関東電化工業株式会社／株式会社かんぼ生命保険／北日本ビル管理株式会社／株式会社紀伊國屋書店／キャノン株式会社／共同印刷株式会社／株式会社クラウン・クリエイティブ／株式会社クラウン・パッケージ／株式会社クレスコ／株式会社クレディセゾン／黒田精工株式会社／京王電鉄株式会社／株式会社講談社／サービス・ツーリズム産業労働組合連合会／三幸株式会社／株式会社シーイーシー／株式会社四国銀行／株式会社資生堂／清水建設株式会社／学校法人尚志学園／城北化学工業株式会社／株式会社白橋／新光電気工業株式会社／新菱冷熱工業株式会社／西武信用金庫／清和綜合建物株式会社／株式会社セーフティ／株式会社セブン&アイ・ホールディングス／全国税理士共栄会／税理士法人添石綜合会計事務所／株式会社タイキ／大和証券株式会社／中央日本土地建物株式会社／中部電力株式会社／中部日本放送株式会社／株式会社千代田組／株式会社TBSホールディングス／帝人株式会社／株式会社ディッジ／株式会社電通／東急建設株式会社／東急不動産ホールディングス株式会社／東京海上日動火災保険株式会社／東京書籍株式会社／株式会社東京ドーム／東武鉄道株式会社／東洋埠頭株式会社／株式会社東横イン／TOPPANエッジ株式会社／なないろ生命保険株式会社／日亜化学工業株式会社／株式会社日税ビジネスサービス／ニチモウ株式会社／NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社／日本化薬株式会社／日本軽金属株式会社／日本ゼオン株式会社／日本ビストンリング株式会社／日本放送協会／日本空港ビルデング株式会社／日本農薬株式会社／日本メディカルシステム株式会社／野村ホールディングス株式会社／株式会社パウコミュニケーションズ／株式会社バンザイ／東日本旅客鉄道株式会社／株式会社日立製作所／株式会社ビデオプロモーション／日比谷総合設備株式会社／株式会社フェドラ／富士オフィス&ライフサービス株式会社／富士急行株式会社／富士通株式会社／株式会社富士通ゼネラル／株式会社フジ・メディア・ホールディングス／古河機械金属株式会社／古河電気工業株式会社／株式会社ブロードリンク／株式会社プロジェクトパーク／マイスター会計事務所／株式会社増田屋コーポレーション／株式会社みずほフィナンシャルグループ／三井住友カード株式会社／ミツイワ株式会社／三菱地所株式会社／三菱重工業株式会社／三菱商事株式会社／株式会社ミライト・ワン／株式会社ミロク情報サービス／株式会社ムクダ／メッドサポートシステムズ株式会社／モリリン株式会社／株式会社ヤクルト本社／山崎製パン株式会社／横浜ゴム株式会社／レイ法律事務所／匿名2社

賛助団体会員 (15)

ICOM日本委員会／OMEP日本委員会／NPO法人関西国際交流団体協議会／一般社団法人国立大学協会／特定非営利活動法人としまNPO推進協議会／公益社団法人日本空手協会／協同組合日本脚本家連盟／一般社団法人日本国際児童図書評議会／一般社団法人日本コミュニティ放送協会／公益社団法人日本図書館協会／一般社団法人日本の節句文化を継承する会／公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会／一般社団法人日本美術家連盟／公益財団法人野村生涯学習教育センター／WARD世界子孫代理人会

サポーター

UNESCO憲章の理念に賛同し、何年にもわたって民間ユネスコ運動を支えてくださっている方々をご紹介します。



ユネスコ
世界寺子屋運動
広報特使
久保 純子さん



ヴァイオリニスト
UNESCO平和芸術家
二村 英仁さん

企業・団体との連携

2025年7月1日現在 五十音順 敬称略

2024年度も多くの企業・団体にご協力いただきました。



アクサ生命



Co-LaVo Inc.



天台宗
一隅を照らす運動
The Light Up a Corner of the World Activities



企業・団体による寄付のご相談はこちらまでご連絡ください ▶

企業寄付係 kikaku@unesco.or.jp

寄付方法のご案内

日本ユネスコ協会連盟の活動は、皆さまからのご寄付で実現しています。
私たちの活動の基本姿勢はコアクション(Co-Action=ともに行動する)です。
ともに社会課題を解決し、平和な世界を築くパートナーとして、皆さまのご協力をお願いします。

寄付で実現すること ※世界寺子屋運動(カンボジア)の場合

5000円
のご寄付で

17食分



寺子屋で学ぶ子どものための給食

10000円
のご寄付で

10人分



寺子屋で学ぶ子どもたちの制服

15000円
のご寄付で

1人分



寺子屋で識字教育を1年間受け、
読み書きできるようになる

寺子屋に設置される銘板にお名前を記載できます

世界寺子屋運動の支援地であるカンボジアまたはネパールをご指定いただいた個人の方で、1回のご寄付が10万円
以上の場合、ご希望の方には、新たに建設される寺子屋に設置する銘板にお名前を記載させていただきます。

写真はカンボジアの寺子屋に設置された銘板です。詳しくはお問い合わせください。

(nfuj_inc@unesco.or.jp 海外事業部)

*寺子屋建設は毎年実施されるとは限りませんので、時期などをご指定いただくことはできません。



寄付方法のご案内

日本ユネスコ協会連盟へのご寄付は、税制優遇措置の対象です。

日本ユネスコ協会連盟への寄付金は、所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置があります。

なお、一部の自治体(東京都)では、個人住民税の寄付金税額控除の対象となります。

月1いいことプログラム(毎月寄付)

口座振替またはクレジットカードにより、毎月
決まった金額を寄付いただくプログラムです。
金額は1000円からご自身で設定いただけます。

都度のご寄付

郵便振替・銀行振込・クレジットカードにより、
ご自身のタイミングで寄付いただく方法です。
巻末の振込用紙もご活用ください。

遺贈

遺言によりご自身の財産を贈与(寄付)いただく
方法です。不動産の遺贈や相続財産の寄付
などのご相談もお受けしています。ご希望の方
には、手続き方法などを掲載したパンフレットを
お送りします。

書きそんじハガキなどのタンス遺産

書きそんじハガキ、未使用の切手、プリペイド
カードなどの「タンス遺産」をお送りください。
途上国における教育支援「世界寺子屋運動」
の活動資金として活用させていただきます。

©DENTSU INC.



送付先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-112F 日本ユネスコ協会連盟 書きそんじ係

その他

Yahoo! ネット募金

クレジットカードでの寄
付や、Vポイントを使っ
て寄付いただけます。

メルカリ寄付

メルカリ寄付サイトからメルペイ残高
で寄付が可能です。寄付先に日本
ユネスコ協会連盟をご指定ください。



寄付方法について
詳しくは
ホームページを
ご覧ください。



<https://www.unesco.or.jp/join/support/>

会計報告

2024年度 正味財産増減計算書(要約版)

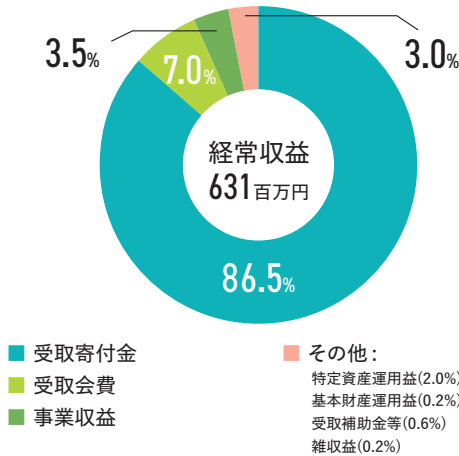
2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:千円)	
科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	1,470
特定資産運用益	12,275
受取会費	43,930
事業収益	22,245
受取補助金等	3,858
受取寄付金	546,195
雑収益	1,442
経常収益計	631,415
(2) 経常費用	
事業費	634,573
管理費	56,570
経常費用計	691,142
評価損益等調整前当期経常増減額	△59,728
評価損益等計	5,610
当期経常増減額	△54,117
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△54,117
一般正味財産期首残高	847,075
一般正味財産期末残高	792,957
II 指定正味財産増減の部	
受取寄付金	574,883
特定資産評価益	0
特定資産評価損	259
一般正味財産への振替額	△499,818
当期指定正味財産増減額	74,805
指定正味財産期首残高	1,531,154
指定正味財産期末残高	1,605,959
III 正味財産期末残高	2,398,916

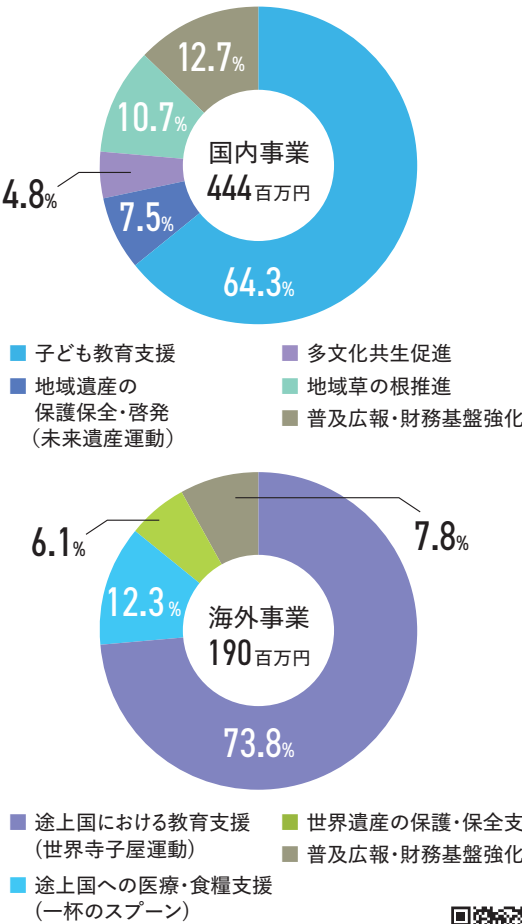
注:記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

監事による監査に加え、監査法人MMPGエーマック並びに要石公認会計士事務所より監査を受けております。
計算書類等、詳しくは当協会連盟のホームページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

2024年度 経常利益の内訳



2024年度 経常費用のうち 事業費の内訳



詳しくはこちら▶

<https://www.unesco.or.jp/document/>

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階

TEL: 03-5424-1121 Email: nfuaj_web@unesco.or.jp <https://www.unesco.or.jp>

当協会連盟の各種刊行物は
こちらからご覧いただけます

